

# 記述方法のポイント

## ☆ 「書きぬき」 問題のポイント

### ①そのまま書く。

設問に

「…ぬき書きしなさい」

「…文中より書きぬいて答えなさい」

「…そのまま書きなさい」

「…文章中の言葉をあてはめて答えなさい」

「…文章中よりさがしなさい」

などと書かれている場合は、文章中のことばを、一字一句、形を変えずにそのまま答えなくてはなりません。文中に使われているのが漢字であれば漢字、ひらがなであればひらがな、カタカナであればカタカナをそのまま使います。「、」「。」「その他のかっこや記号も文中のまま使います（ぬき書きする部分の最後に「、」「。」「」がある場合は、字数によって書かない場合もあります）。自分でそのことばの形を変えることはできません。

### ②できるだけ——線部にあてはまるように答える。

例1、「この花」のさしている内容を文中より書きぬいて答えなさい。

私の学校には桜の花がたくさん咲いています。この花は昔から日本人がもっとも愛した花の一つです。

この場合、——線部「この花」の部分に当てはめて文がうまく通じるのは「桜の花」ですね。

桜の花

…この花は昔から日本人がもっとも愛した花の一つです。

例2、——線部のさしている内容を文中よりぬき書きしなさい。

私は秋のぬけるような青空が好きです。そんな天気の日には——

日中外で遊んでいたい気分になります。

この場合、——線部「そんな」の部分に当てはめて、うまく文が通じる言葉はあるでしょうか。

a、…~~そんな~~秋の  
秋の  
ぬけるような

b、…~~そんな~~天気の日には  
天気の日には

c、…~~そんな~~青空  
青空  
天気の日には

「b」は一見うまく当てはまっているように見えますが、「ぬけるような」は「青空」という言葉をくわしく説明している語なので、これは正しくありません。

例2の——線部「そんな」をもう少し広いはんいでとらえてみましょう。「そんな天気の日」とはどんな日でしょうか。「秋のぬけるような青空」の日だと考えられます。したがってここでは——線部にうまく当てはまらないけれども、「秋のぬけるような青空」(あるいは「ぬけるような青空」)というのが、もっとも良い答になります。

## ☆「まとめ」問題のポイント

①——線部に合うようにまとめる。  
設問に

「…何をさしていますか。」  
とだけあって、「抜き書き」の指示がない場合や、

「…自分でまとめなさい。」

「…文中の言葉を使って答えなさい。」

「…文章中のことばを使って答えなさい。」

「…まとめて答えなさい。」

# 一、記号で答える

問題 次のぼう線部の指し示している言葉を、ア〜コから選んで記号で答えなさい。

例、私は三十六色の色えんぴつをもっています。これは私の大切な宝物です。

- ア、私
- イ、三十六色
- ウ、色えんぴつ
- エ、もっていること
- オ、宝物

1、ぼくは毎日、自転車に乗っています。それはきよ年のたん生日に、お父さんに買ってもらったものです。

- ア、ぼく
- イ、毎日
- ウ、自転車
- エ、きよ年
- オ、たん生日
- カ、お父さん

2、妹は、にんじんがきらいです。でもそれは体にいい食べ物です。

- ア、妹
- イ、にんじん
- ウ、きらいなこと
- エ、体
- オ、食べ物

3、お父さんはゴルフが好きです。それをするために、毎週日曜日には、朝早くから出かけます。

- ア、お父さん
- イ、ゴルフ
- ウ、好きなこと
- エ、毎週
- オ、日曜日
- カ、朝早く
- キ、出かけること

4、私はワープロがほしいのですが、それは高くてなかなか買えません。

- ア、私
- イ、ワープロ
- ウ、ほしいこと
- エ、高いこと
- オ、なかなか

5、お母さんは毎日買い物に出かけます。それを毎日続けるのは大変なことだと思います。

- ア、お母さん
- イ、毎日
- ウ、買い物

## 二、書きぬき ①

問題

次のぼう線部の指し示している言葉を、指定された字数で文中より書き抜いて答えなさい。

例、裏山に一本の桜の木があります。それは毎年春になると美しい花を咲かせます。(3字)

桜の木

1、食事の後に歯をみがくことは、虫歯の予防になります。また、それは気分をさわやかにする効果もあります。(7字)

2、飲み水とかんづめはいつも家に用意しておきましょう。なぜならそれらは、非常の時に役にたつからです。(8字)

3、ここにメロンがあります。あちらにいちごがあります。これとあれとではどちらがあなたは好きですか。(これ…3字、あれ…3字)

これ

あれ

4、わが日本はアメリカより小さな国です。しかし、この国には古い伝統と文化があります。(4字)

5、きのう先生が宇宙の話をして下さいました。ぼくはその話を聞いてから、毎日空をながめています。(4字)

6、お父さんは裏山を見ながら、「あの山はお父さんが子供のころ、毎日のように登って遊んでいた山なんだ。」と言いました。(2字)

7、私は遠足で大きな神社に來ています。ここには美しい庭があり、近所の人達が良く散歩に來るそうです。(5字)

### 三、書きぬき ②

問題 次のぼう線部の指し示している言葉を、□にあてはまるように、文中より書き抜いて答えなさい。

例、今日は日曜日です。久しぶりの晴れで、ぽかぽかと暖かく、こんな日にはどこか遠くへ出かけたくありません。

ぽかぽかと暖かい、

晴れた日曜日。

1、宿題を忘れてきた人は、その理由をきちんといいなさい。

理由

2、父は日曜日はいつも家でごろごろしています。でもそれが、父が元気で働いてくれるひけつです。

いること。

3、私は、京に上りとうございます。他に何もいりません。それだけが私の唯一の望みなのでございます。

たい、という。

4、ぼくは弟をたたいた。ほったをバシッとたたいた。ぼくはカッとなっていた。弟は火が付いたように泣き出した。こんな事がいいはずがない。ぼくがかつとなっただけで、弟は悪くなかったんだから。

なっ

の

事。